



# たんぽぽぐみだより

2019年 1月 第4号

あけましておめでとうございます

1年で1番寒い時期を迎えました。子ども達は冷たい風など気にせず、ほっぺや耳を真っ赤にしながらか元気に園庭中を駆け回っています。

たんぽぽぐみでの生活も残り3ヶ月となりました。これからもたくさん思い出を作り、楽しく過ごしていきたいと思います。



## がんばりました!



歌ったり踊ったりすることが大好きな子ども達。クリスマス会の練習を笑顔で楽しんでいました。「犬のおまわりさん」は、月のうたで歌った曲で、歌詞に合わせた振りをすぐに覚え、首を振ったり、困った顔をしたりと、かわいらしい姿に毎回ほっこりさせられました。お遊戯「ワンツー! パンツー!」は、おしりをフリフリさせる振りをたくさん入れました。保育士が、「おしりー!」と声をかけると、精一杯振る子、ちょっぴり恥ずかしそうに振る子、真顔で振る子などさまざま、見ていて思わず笑ってしまうほどでした。

クリスマス会当日、登園時いつもと違う雰囲気、泣いてしまうのではないかと心配していましたが、笑顔でお遊戯室に向かうことが出来ました。幕が開くまでテンションが高かった子ども達でしたが、いざ幕が開くと、敬老招待のクリスマス会以上の人の多さに固まってしまうました。ですが、「ワンツー! パンツー!」が聞えると、ほとんどの子が踊ることが出来てよかったです。子ども達の頑張りに拍手を送りました。



## 指先を上手に使って

先日、穴の開いた小さな積み木にひもを通して遊ぶ‘ひも通し’遊びをしました。初めて遊ぶ物だったので遊び方を伝えると、興味津々の子ども達。これまでに粘土遊びや積み木を重ねる、洗濯ばさみで台紙を挟むなど、指先を使っていろいろな物で遊んできましたが、‘通す’という遊びはしたことはありませんでした。そのため、「出来なくてすぐに飽きてしまうかな?」と思いましたが、穴にひもを通せる子が多く驚きました。ですが、手を持ちかえて通したひもを引っ張ることは難しく、積み木が抜けてしまったり、ひもが中に引っ込んでしまったりと苦戦していました。保育士が手を添えて行ったり、自分で考えながら行ううちにコツをつかみ、スムーズにひもを通せるようになりました。ひもいっぱい積み木を通すと、「できたよ!」と得意顔で見せにきたり、保育士にネックレスのようにしてもらおうと、「かわいいね」と嬉しそうにしていました。

指先が上手く使えるようになり、絵本を1ページずつめくる、カバンのチャックの開け閉め、水道の蛇口をひねるなどいろいろなことが出来るようになってきました。これからも、指先を使った遊びや制作をたくさん取り入れていきたいと思います。



## おねがい

着替えの際、衣類に名前のない物が目立ちます。名前が消えかかっていたり、お下がりのままの名前になっている物もあります。もう一度確認して頂き、必ず名前を記入して頂くようよろしくお願い致します。